

基礎看護学

Fundamental Nursing

人間科学(1)研究室

Human Science (1)

教授 落合 宏 Hiroshi Ochiai

◆ 著 書

- 1) Imanishi N., Mantani N., Hayashi K., Sakai S., Shimada Y., Terasawa K. and Ochiai H. : Anti-influenza virus activity of Kampo (Japanese herbal) medicines with different manners in in vitro assays. *Recent Res. Devel. Immunology*. 7, Pandalai, S.G. (Ed.), 1-8, Research Signpost, Trivandrum, India, 2005.

◆ 原 著

- 1) Imanishi N, Andoh T, Sakai S, Satoh M, Katada Y, Ueda K, Terasawa K, and Ochiai H. : Induction of inducible nitric oxide (NO) synthase mRNA and NO production in macrophages infected with influenza A/PR/8 virus and stimulated with its ether-split product. *Microbiol. Immunol.*, 49:41-48. 2005.
- 2) 上田京佳, 佐藤美友紀, 片田裕子, 今西信子, 落合 宏. : 分子疫学的手法によるセラチア菌の識別とその精度に関する研究～ICN への導入の視点から～ 富山医科薬科大学看護学会誌, 6: 27-44. 2005.
- 3) 片田裕子, 佐藤美友紀, 今西信子, 吉井美穂, 落合 宏. : 環境由来およびヒト由来緑膿菌のバイオフィルム形成能と消毒薬感受性に関する研究. 富山医科薬科大学看護学会誌, 6: 45-53. 2005.
- 4) 岸本千晴, 平岡勇二, 高田均, 黒川昌彦, 落合 宏. : インフルエンザ A ウイルス性心筋炎に対する免疫グロブリンの効果: 実験的検討. *J. Cardiol.* 45: 247-255. 2005.

◆ 学会報告

- 1) 吉井美穂, 今西信子, 八塚美樹, 安田智美, 境美代子, 落合 宏 : 臨地実習における看護学生のユニフォーム交換頻度と意識. 第 20 回日本環境感染学会総会 2005. 2. 神戸.
- 2) Miyahara T., Katoh T., Ochiai H., Imanishi N., Sugiyama E., Ito S., Aono M., Mikami Y., Sakuma T., Nemoto H. and Komurasaki T. : The mechanism of bone resorption induced by epiregulin, an EGF family member. *International symposium of maxillofacial & oral generative biology*. 2005. 9. Okayama.
- 3) 林 克美, 今西信子, 嶋田 豊, 寺澤捷年, 河野 彩, 落合 宏 : 桂皮由来 cinnamaldehyde の抗インフルエンザウイルス作用について. 第 22 回和漢医薬学会大会 2005. 8. 東京
- 4) 今西信子, 林 克美, 河野 彩, 福井則子, 松原久代, 宮原龍郎, 落合 宏 : 和漢薬の感染予防・感染看護への活用に関する研究. 第 6 回富山医科薬科大学看護学会学術集会 2005. 10. 富山.
- 5) 今西信子, 河野 彩, 林 克美, 吉井美穂, 宮原龍郎, 落合 宏 : マクロファージを介した乾姜の A 型インフルエンザウイルス Aichi 株の増殖抑制に関する研究. 第 42 回日本細菌学会中部支部総会 2005. 11. 金沢.
- 6) 林 克美, 今西信子, 嶋田 豊, 寺澤捷年, 河野 彩, 落合 宏 : 桂皮水煎エキスの抗インフルエンザウイルス作用について. 第 53 回日本ウイルス学会学術集会・総会 2005. 11. 横浜.

◆ その他

- 1) 落合 宏. 質疑応答<インフルエンザ A ソ連型・香港型二回罹患>. *日本医事新報* 4250:99. 2005.